

主な内容

2面	楽しみながら体力アップ! —「町田っ子アクティブ・プロジェクト」始動—
3面	まちだの小中連携
4面	開館30周年 自由民権資料館に行こう!

# まちだの教育

2016年  
9月21日  
No. 98

発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

## 「ことばらんど」へようこそ!

作家たちに愛される街、町田。  
これまでに多くの作家がこの地で過ごし、また、創作の舞台としてきました。  
作家・遠藤周作の資料の寄贈がきっかけとなり2006年10月に開館した当館は、こうした町田固有の文学財産を多くの人に知ってもらい、これらを将来に継承していくことを目指して活動を続けてきました。  
今年は開館10周年。これまでの歩みを振り返りつつ、多くの人々が新たな世界観や生きがいを発見し、豊かな人生を実現できるよう、これからも展覧会や講演会などを通じて「文学」や「ことば」の魅力を発信していきます。



# 町田市民文学館

## ことば らんど



◀ちちんぷいぷい  
0・1歳児向けのわらべうたとおはなしの会

「ママと一緒のわらべうたあそびはうれしいな」



子ども俳句教室▶  
のびのびとした自然の中で季語を探して俳句を作ります  
「どんぐりが まだみどりだな もうすぐだ」

## ことばと出会う

当館ではライフステージに応じ、様々なことばとの出会いの場をご用意しています。ことばとの出会いは、日常にちょっと違った視点を、くつろぎの時間を、楽しみを、加えてくれるはずです。

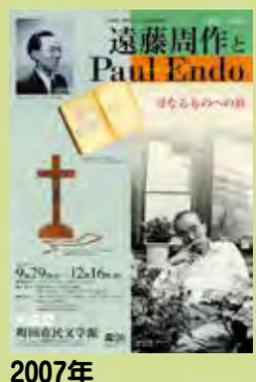


◀市民研究会  
市民が2年間をかけて1つのテーマを調査し発表します

▼おとなのためのおはなし会  
耳で味わう文学は本を読むのとは違う趣です



「孫との共通の話題ができるかと思い児童文学研究会に入りました。調べるのが楽しいです」



2007年



2009年



2010年

## 文学を楽しむ

年4回の展覧会では、遠藤周作、白洲正子、森村誠一などの町田ゆかりの作家を中心に紹介してきました。夏季には妖怪や絵本をとりあげた、子ども向け展覧会も開催しています。本を読むだけではわからない作家の思いやバックグラウンドを展覧会で解き明かします。

「生きる道しるべになりました。心うたれました」「小説の裏側が感じられたので、原作に親近感をもてた」「赤川次郎さんがどのように感じ、思い、小説を書かれたのかその軌跡を辿れてとてもよかったです。とても素晴らしい作家と作品、人柄、人生をまっとうした姿に涙が出そうだった」「尾辻さんのことが今まであまりわかってなかったの、どのような道を通って小説を書いたのかわかって良かったです」  
(観覧者アンケートより)



2014年



2013年



2011年

## ことばらんどは開館10周年

秋は開館10周年イベントが目白押し!  
10月22日から12月25日を会期とする展覧会「八木重吉—さいわいの詩人—」展は、八木重吉の初めての本格的な文学展となります。

会期中には、講演会やコンサート、朗読会などのイベントも実施。

八木重吉記念館から出品される数々の貴重な資料により、重吉の至純な詩の世界をご紹介します。心にひそむ深い悲しみ、家族への愛、身近な自然、ふるさとへの思いを綴った重吉の詩は、みなさんの心に響き、大切なものに気づかせてくれるでしょう。

このほか、馬場あき子さんと穂村弘さんの短歌対談や、島田雅彦さんによる連続対談では三浦祐之さんと東直子さんがご登壇、森村誠一さんの写真俳句コンテストも実施します。

いま求められている文学、これからの文学の可能性を、イベントを通じて一緒に考えていきたいと思っております。詳しくはチラシや町田市ホームページをご覧ください。



問い合わせ  
〒194-0013  
町田市原町田4-16-17  
☎739-3420





# 楽しみながら体力アップ!



## 「町田っ子 アクティブ・プロジェクト」始動

体力は、あらゆる活動の源であり、意欲や気力の充実にも深く関わっています。しかし、2015年度の「全国体力・運動能力、運動習慣調査」によれば、町田市の子どもたちは、1週間の総運動時間が全国や都の平均と比べて短い傾向がありました(図1:中学校2年生女子の例)。また、中学校2年生の女子においては、8種目中5種目において、運動能力が全国及び都の平均を下回っていることがわかりました。

このような状況の中で、町田市教育委員会では、町田市体力向上戦略会議を設置して、議論を重ね、これからの社会を生きていく子どもたちにとって必要なものは、走る力や投げる力などの運動能力だけにとどまらず、生涯にわたって健康的で充実した生活を送れるような力を身に付けることであると考えました。そこで、体力を「生涯を通じて、心も体も健康で活力ある生活を営むための力〜アクティブに生きる力〜」と定義し、子どもたちが楽しみながら体力を向上させることができるよう、町田っ子アクティブ・プロジェクトをスタートします!

(図1)2015年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査「1週間の総運動時間(%)」  
中学校2年生 女子

	420分以上	60分以上420分未満	1分以上60分未満	0分
町田	48.6	28.0	8.6	14.8
東京	52.9	23.7	7.7	15.7
全国	58.7	19.5	7.0	14.8

体力が大切なことはみんな知っています。しかし、「体力が大切だから」といっても運動する意欲につながるとは限りません。子どもたちが「体を動かすって楽しいな!気持ちいいな!またやりたいな!」と感じることがまずは大切です。



町田市体力向上戦略会議 顧問  
東京国際大学人間社会学部専任講師 木原 慎介

## 「町田っ子 アクティブ・プロジェクト」で目指す町田っ子の姿!

### 楽しむ

運動を楽しむことができる!



### 広げる

運動を日常生活に取り入れることができる!



### 見つめる

自分の心と体を大切にすることができる!



### プロジェクト1 楽しむ 見つめる 体育の授業って楽しい!

運動が得意な子も、苦手な子も体を動かす楽しさを味わい、自分の体のことをきちんと理解できるように授業づくりを行います。



バスケットボールのウォーミングアップです。友達とボールを交換し合うゲームをしています。簡単なゲームを楽しみながら、ボールを扱う感覚を養います。(つくし野中学校)

### プロジェクト2 楽しむ 広げる 遊びを通して、Let's運動!

朝や休み時間を利用して、縄やボールを使った運動などみんなで体を動かす活動を充実させ、子どもたちが運動・スポーツに親しめるような環境作りを行います。

ステージに設置した的をめがけてボールを投げます。遊びながら投げる力を自然に高める工夫です。(南第四小学校)



### プロジェクト3 広げる 見つめる 家庭でも楽しく体力UP!

家庭で行ってほしい運動や、基本的な生活習慣の定着に向けた取組などを、学校便りやホームページなどを通して発信していきます。10月に開催する「体力向上・パワーアップDAY!」でもいろいろな運動を紹介します!



朝会で、「親子でキャッチボールをしよう」と子どもたちに伝えていきます。家庭での運動意欲を高めます。(ゆくのき学園)

## 体力向上・パワーアップDAY!



運動って、そんなに大切なのかな?

体力を高めるにはトレーニングをしなければいけないのかな?

保護者・市民・教員が一緒に答えを探しましょう!

### 第1部 【デモンストレーション】 「こんな動きをしてみよう」

気軽に組み合わせて、体を動かす楽しさや心地よさを感じられる運動を小・中学生の代表に体験してもらいます。※みなさんも一部体験ができます。

### 第2部 【パネルディスカッション】 「体力って何だろう?」

体力について、パネリストのみなさんと一緒に考えましょう。

開催日時 10月15日(土) 9時30分~11時45分

会場 町田第一小学校(体育館)

申し込み 市立小・中学校の保護者の方は各学校へ、その他の方は指導課までお電話でお申し込みください。  
申込期限: 10月7日(金)

問い合わせ 指導課 ☎724-2154

この度、教育委員に就任いたしました坂上圭子です。私は、息子が中学に入学してから3年間、中学校のPTA会長を務めました。この貴重な経験をどこかで生かしたいと思っていました。町田市の広報で教育委員の公募の案内を見つけた。このようなタイミングで教育委員を拝命したことに、私自身、運命的なものを感じております。昨今の子ども達、また保護者を取り巻く環境や生活様式は実に様々で、教育と一言に言っても、何をするのが良いか、悪いかを判断する基準が難しい世の中です。しかしながら私は、親から子へ、あるいは周囲の大人達から子ども達へ伝えるべき大切なことは、今も昔も変わらぬ、必ずあると思っています。教育は学校だけに任せるものではありません。まずは一番身近なその子の親や家族、そして周囲の大人達が出てくることを今一度見つめ直し、取り組んでいくことが必要だと思っております。人間関係が希薄になっていく時代だからこそ、子ども達にはパソコンやスマホと向き合うのではなく、家族、友人、先生、周囲の大人達など、様々な人ときちんと向き合って欲しいと思います。そして、私は、人と人が向き合うことの大切さをこの町田市から発信していきたいと思っています。微力ではありますが、全力で取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



坂上 圭子委員

7月1日付け  
教育委員就任

# 町田第二中学校・町田第二小学校・町田第六小学校・高ヶ坂小学校

## 進化する小中連携 深まる地域の絆

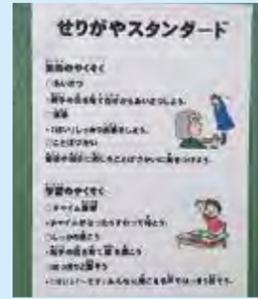
### 連携1 二中オープンスクールで中学校生活先取り



町田第二中学校校区では、以前から毎年10月に地域の3つの小学校の6年生全員を対象に、1時間の部活動体験と1時間の授業体験をしていました。昔から6年生の中学校への期待と不安と言えば、部活動と授業。その期待をいっそうふくらませ、同時に不安も取り除くために、部活動も授業も両方体験できる機会を設けています。

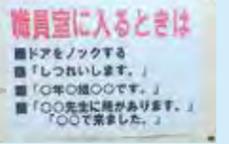
ドキドキ  
ワクワク  
楽しみだなあ！

### 連携2 「せりがやスタンダード」は9年間の約束



町田第二中学校に進学する3つの小学校は、それぞれ「町ニスタイル」「町六スタンダード」「高ヶ坂ファイブ」という学校生活の約束を作っていましたが、そこには微妙な違いも…。そこで、中学校の視点も取り入れて、9年間継続して指導できる共通の生活や学習の約束を作り、3年前から取り組んでいます。「どこの小学校から進学してきた生徒にも、同じことを言って通じる」と、中学校にも好評です。

こういうこまかいことも4校共通で約束して取り組んでいます。



### 長年の連携で培う理想の小中連携

ほぼ同じ規模の3つの小学校のほぼ全員が地元の中学校に進学するという特性をもつ町田第二中学校校区。昔から行っていた小中連携の取組を近年いっそう進化させています。ここではその一端を紹介します。

### 連携3 中学生から教わり、チャレンジ！学級対抗チームジャンプ

昨年度からスタートした小学校3校による連合運動会。目玉は学級対抗チームジャンプです。小学校の大縄は8の字跳びが主流ですが、各校の6年生が町田第二中学校に出かけ、先輩たちから直接指導を受けて中学校体育祭の種目にチャレンジします。



中学生のかっこいい姿を目標に、自校に戻ってからも練習を重ねましたが、やっぱり難しい！先輩は偉大です！



中学生が、小学生を励ましながらやさしくコツを教えます。



お兄さんやお姉さんと一緒にお迎えを待たせたから、すごく安心できたよ。

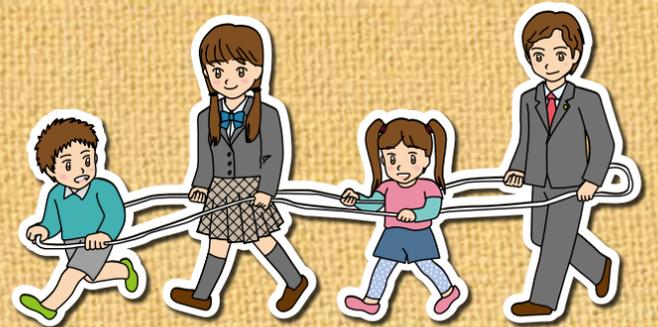
### 連携4 初の試み 小中合同引き渡し訓練



震災や集中豪雨などの災害対策を徹底するため、今年から新しい取組としてスタートしました。1ヶ所で子供たちを引き取りたい、という保護者の要望を聞いて、小学校に兄弟のいる中学生は教員引率のもと小学校に移してからの引き渡しとしました。

# 9年間の育ち支える、学びつなげる まちだの 小中連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。



## 薬師中学校・藤の台小学校・本町田東小学校

## 3校で連携して取り組む 防災教育・学力向上

### ■防災教育～地区の小中で連携した引き渡し訓練～



薬師中学校から、小学校に合流



小学校で、小・中の子どもを引き取り

昨年度から2年続けて、3校で連携した「小中合同引き渡し訓練」を実施しています。

大規模災害を想定したこの訓練では、小学校に兄弟姉妹のいる中学生は、教員引率のもと小学校に向かい、弟や妹と一緒に保護者を待ちます。

保護者は、小学校へ向かえば子どもたちに会うことができ、非常時の混雑を少なくすることができます。

小学生は、袋を開けるだけで食べられる「救給力レー」という非常食を食べて保護者を待ちました。



救給力レーを体験

### ■学力向上の取組～学習の習慣作り、基礎学力の定着、読書活動の充実を中心に～

学力向上のための様々な取組を、3校共通の取組として実施しています。

#### ①学習の習慣作り

藤の台小学校・本町田東小学校では、家庭学習の習慣を作るための「家庭学習の手引き」、薬師中学校では、主体的な学びの習慣を作るための「学習の手引き」を作成するなどして、保護者と連携しながら、学習の習慣作りに努めています。

#### ②基礎学力の定着

- 算数チャレンジ…小学校では、基礎的な計算問題を中心とした独自の問題集に繰り返し取り組んでいます。
- 6年生基礎問題…卒業直前の小学6年生は、3学期と春休みに算数の基礎をもう一度確認するための問題集に取り組み、薬師中学校入学後に提出しています。
- 放課後学習教室、補習教室…放課後や長期休業期間中に、「東京ベーシックドリル」等を活用しながら、一人一人に学習内容の定着を図るための補充学習を行っています。

#### ③読書活動の充実

考える力、読解力の向上のため、読書週間や朝読書により読書活動の充実を図っています。



▲本町田東小版 家庭学習の手引き「かがやけ東っ子」

# 開館30周年 自由民権資料館に行こう！

自由民権資料館は、1980年ころから全国的に盛り上がった自由民権百年の市民運動を背景に、1986年11月3日に開館しました。

## 自由民権資料館の2本の柱

### ①自由民権運動の意義を伝える

多摩・神奈川の自由民権運動に関わる資料を収集し、研究した成果を、展示会や、図書の刊行により発信しています。

### ②町田市域の歴史を伝える

地域の歴史を扱う郷土資料館でもあり、毎年郷土史の展示も行っています。また、市内から発見された古文書や、村役場文書など旧公文書を保管しています。

開館30周年を迎える今年は、記念行事も盛り沢山です。当館で、歴史を知る楽しさだけでなく、考える楽しさを感じていただければと考えています。

## 自由民権運動と町田

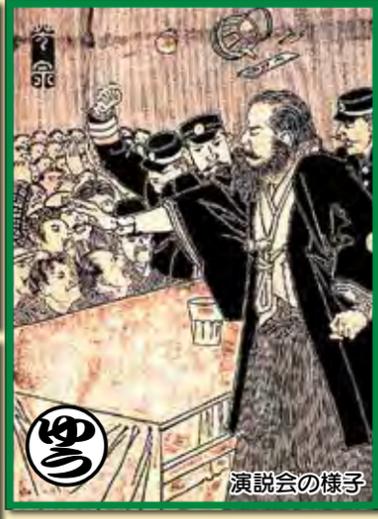
自由民権運動は、自由党や立憲改進黨などの政党を組織し、明治10年代から20年代初めに国会開設や憲法創造を求めた政治運動で、神奈川県はその牙城の一つでした。なかでも、南多摩郡はその中心で、それを率いたのが石坂昌孝ら町田市域の民権家でした（町田市域を含む三多摩は、当時神奈川県に属していました）。町田市域の民権家が、自由党の牙城神奈川県の運動を束ねていたのです。

## 今につながる自由民権

自由民権運動は今から130年も前のことですが、現代にも多くの影響を与えています。演説や新聞・雑誌は、民権運動の盛り上がりのおかげで定着した文化です。演歌も、演説を禁止された民権家がそれならば、と編み出したものです。憲法・国会・選挙・政党など現代の政治に欠かせない仕組みも、民権運動が実現をめざしたり、創ったもので、民権運動の影響は、日本国憲法にも見られます。



資料館の裏山から見つかった「凌霜館」の名前の入った盃



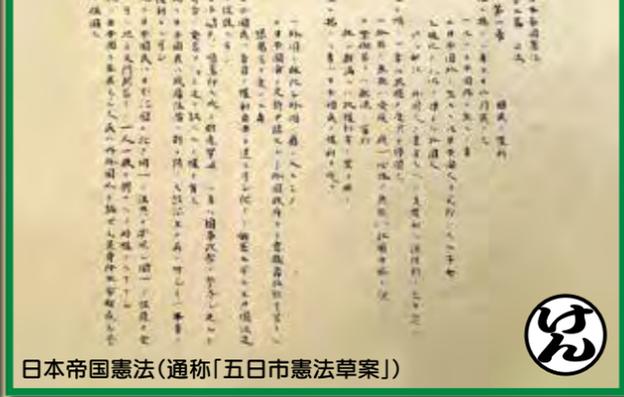
演説会の様子



自由民権資料館外観  
中島信行の書(上)



三多摩移管概略図



日本帝国憲法(通称「五日市憲法草案」)



八王子の負債農民を風刺する漫画



民犬くんと民民ゼミ  
資料館では、自由と権利を求めた人々の運動を、今に伝わる数々の資料で紹介しています！

**㊦ どうしても抑えきれない自由党**  
明治25年の総選挙で神奈川県は自由党の妨害をしますが、自由党が勝利します。自由党を抑えきれない県は、拠点三多摩の東京府移管を決定、翌年の国会で移管法案が可決されます。

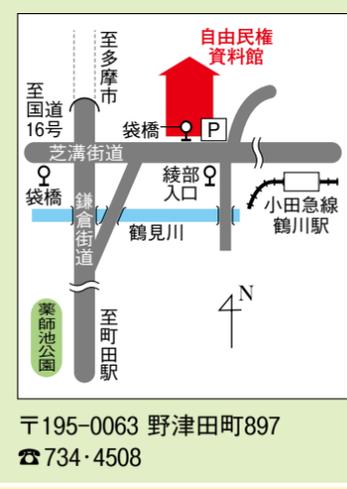
**㊧ 運動の拠点となった凌霜館(りょうそうかん)**  
資料館の敷地は、明治16年に青年民権家育成を目的に村野常右衛門が建てた文武道場「凌霜館」の跡地です。資料館は、青年たちの思いあふれるゆかりの地に建っています。

**㊨ 憲法と国会実現めざそうぞ**  
民権家たちは、政府に憲法制定を求めるだけでなく、自分たちでも憲法草案を創っています。資料館では、千葉卓三郎起草の「五日市憲法草案」複製を展示しています。

**㊩ 民衆が困窮にあえぐデフレの世**  
大蔵卿松方正義のデフレ政策による物価の急落で、農民たちは、借金の返済に苦しみ、多額の負債を抱えます。小川村の民権家・細野喜代四郎らは金貸会社と農民の間で仲裁活動に奔走します。

**㊪ 遊説で熱弁ふるう弁士たち**  
自由民権運動では、頻りに演説会が開かれました。東京や横浜に近い神奈川県内の各地域では、都市の雄弁な民権家が演説会に招かれ熱弁をふるいました。町田にも時折雄弁家が訪れました。

**㊫ 自由とは多摩の丘にぞありにけり**  
自由党副総理中島信行が、野津田村の民権家・村野常右衛門に送った書「自由所棲は吾郷」で、自由はわが郷にあるという意味です。多摩丘陵で神奈川県自由民権運動をリードする力が育まれました。



**自由民権資料館へのアクセス【路線バス】**  
**小田急線/鶴川駅から**  
北口改札を出て0番乗り場より、「野津田車庫行き」または「本町田経由町田駅行き」に乗り、「綾部入口」バス停で下車  
**小田急線/町田駅から**  
東口改札を出てPOPビル先の21番乗り場より、「本町田経由野津田車庫行き」または「本町田経由鶴川駅行き」に乗り、「袋橋」バス停で下車

自由民権資料館開館30周年記念行事のご案内

特別展	武相民権家列伝	～11月27日(日)開催中！
常設展	「武相の民権/町田の民権」リニューアルオープン	10月8日(土)～(10月7日までは閉鎖)
イベント	資料館まつり2016	11月3日(木・祝)
シンポジウム	民権運動再考Ⅲ「(激化)から考える自由民権」	11月13日(日)※
企画展	第2回市民協働展	2月18日(土)～3月20日(月・祝)
シンポジウム	タイトル未定	3月12日(日)※

※シンポジウムは生涯学習センターで開催する予定です。

**ご自宅に古文書が眠っていませんか？**  
引越しや、家屋の建て替えにともない、古文書などの歴史資料が見つかることがあります。自由民権資料館では、古文書などの取り扱い、保存方法について、ご相談を承っております。お気軽にご連絡ください。